



血圧(収縮期血圧／拡張期血圧)

異なる測定方法における高血圧基準

(単位:mmHg)

測定方法	収縮期血圧		拡張期血圧
診察室血圧	≥140	かつ/または	≥90
家庭血圧	≥135	かつ/または	≥85
自由行動下血圧			
24時間	≥130	かつ/または	≥80
昼間	≥135	かつ/または	≥85
夜間	≥120	かつ/または	≥70

降圧目標

(単位:mmHg未満)

対象	診察室血圧	家庭血圧
若年、中年、前期高齢者	140/90	135/85
後期高齢者	150/90 (忍容性があれば140/90)	145/85 (目安) (忍容性があれば135/85)
糖尿病患者	130/80	125/75
CKD患者 (蛋白尿陽性)	130/80	125/75 (目安)
脳血管障害患者 冠動脈疾患患者	140/90	135/85 (目安)

注: 診察室血圧と家庭血圧の目標値の差は、診察室血圧140/90mmHg、家庭血圧135/85mmHgが高血圧の診断基準であることから、この二者の差をあてはめたものである。

服薬指導に活かせる
ポイントなど

- ❑ 診察室血圧と家庭血圧の間に診断の差がある場合は、家庭血圧による診断を優先することを認識してもらう
(測定のタイミングは原則として起床後1時間以内、就寝前)
- ❑ 降圧目標に到達しているか確認する
- ❑ 降圧薬のアドヒアランス状況を確認する
- ❑ 心血管イベント発生リスク上昇など、合併症に対する服薬遵守の重要性を認識してもらう